

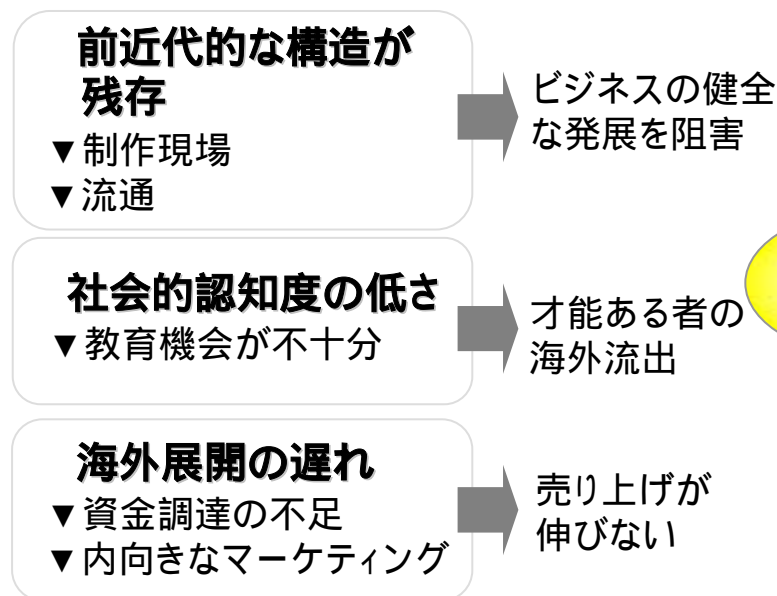
(1) 重要性



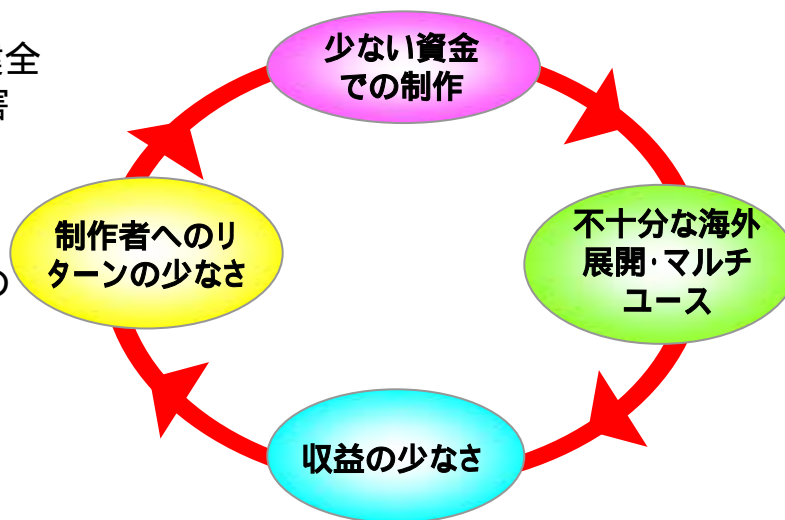
- 日本は潜在的に国際競争力あり
- しかし、事業規模は下降傾向

“ビジネス”としての展開が不十分

(2) 問題点



コンテンツビジネスの悪循環



(3) 海外の状況

アメリカのひとり勝ち

【米国】ハイテク技術と豊富な資金力で世界を席卷

アジアの追い上げ

【韓国】文化産業振興基本法

【台湾】産業発展計画

【中国】国立北京電影学院

日本は国際的に立ち遅れる危機

(4) 集中構造改革の推進 (2004年から3カ年)

■ 基本方針 ■

1. コンテンツビジネス事業規模の拡大
2. 改革は民間主導。国は民間を積極的に支援。

国が進める方策

(1) 制作・流通の近代化を支援

- 専門職大学院等におけるプロデューサーの育成
- 公正取引委員会による独禁法・下請法の厳正適用

(2) 社会的認知度を向上

- 高等教育機関の充実
- 優れた人材の顕彰と広報

(3) ビジネス展開を支援

- 海賊版対策の強化
- 国内での流通の拡大
- 信託制度の活用など資金調達手段の多様化

● 5つのアクション ●

Cool Japan

“カッコイイ”日本へ

Brand Japan

海外市場戦略を重視し

Digital Japan

デジタル化・ブロードバンド化に対応し

Tech Japan

先端技術を活用しながら

All Japan

すべての関係者が連携・協力

ビジネスと
しての
飛躍的发展



日本文化の
発信